

～人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹～

令和4年(2022年)12月2日  
市立伊丹病院検討特別委員会資料

# 「統合新病院整備工事」について

市立伊丹病院  
統合新病院整備推進班





# 目次

1. 第2回目の入札経緯について ……2
2. 第2回目の入札不調要因と次回入札に向けて ……3
3. 次回入札に向けた概算工事費の見直し及び財源の  
確保について ……6
4. 今後の方向性について ……7

# 1. 第2回目の入札経緯について

- ① 入札方法 制限付き一般競争入札
- ② 工 種 建築一式工事
- ③ 工事件名 統合新病院整備工事
  - ・(仮称)伊丹市立伊丹総合医療センター整備工事
  - ・(仮称)公立学校共済組合からだところの健康センター整備工事
- ④ 施工場所 伊丹市昆陽池1丁目100番他
- ⑤ 予定価格 34,874,000,000円(税抜き)
- ⑥ 入札結果 **入札不調**
- ⑦ スケジュール 下表のとおり

	日程	内容
令和4年 (2022年)	7月22日(金)	入札公告、入札説明書等の公表
	7月22日(金)～7月26日(火)	入札参加資格に関する質問の受付
	7月22日(金)～8月2日(火)	入札参加資格確認申請書の受付
	7月22日(金)～8月3日(水)	設計図書等の貸与の受付
	7月28日(木)	入札参加資格に関する質問の回答
	8月5日(金)	入札参加資格確認通知書の送付
	8月8日(月)～8月12日(金)	設計図書等に関する質問の受付
	8月8日(月)～8月16日(火)	入札参加資格に対する説明要求の受付
	8月22日(月)	入札参加資格に対する説明要求の回答
	8月26日(金)	設計図書等に関する質問の回答
	8月8日(月)～10月5日(水)	入札辞退の受付
	9月30日(金)～10月5日(水)	入札書の受付
	10月6日(木)	開札(入札不調)

## 2-1. 第2回目の入札不調要因と次回入札に向けて

### 1) 入札不調の要因

#### ① 令和4年3月 第1回目入札時 …建設資材費等の高騰による工事費の上昇

→コロナ禍長期化・ウクライナ危機・急激な円安により、海外依存度の高い原材料・資材価格が高騰している。  
また、原油価格の高騰により、輸送費にも大きな影響が出ている。

#### ② 令和4年10月 第2回目入札時 …市場価格(工事受注額)と予定価格(設計価格)との乖離

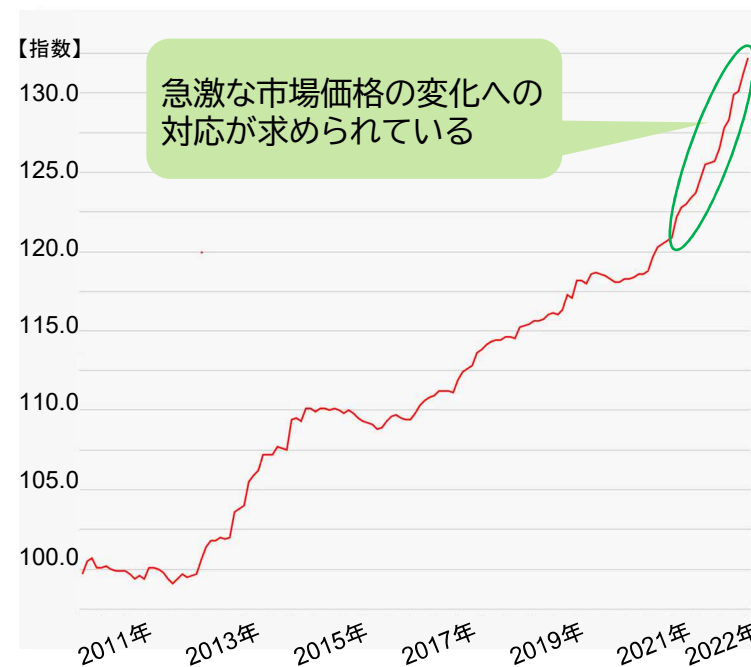
→建設資材費等の高騰に加え、関西地区における複数の大型事業が同時期に集中することに起因した競争性の低下や職人不足等、多角的な要因により市場価格が高騰している。

今後も、このような状況が継続することが見込まれる。

#### 【現在進行中の関西地区の大型事業】

事業名等	事業規模等
うめきた2期 (JR大阪駅北再開発)	2,000億円
梅田3丁目計画 (旧大阪中央郵便局跡地)	968億円
JR大阪駅西側新駅ビル (仮称)	1,000億円
日本国際博覧会 会場基盤整備工事	1,250億円 ⇒ 1,850億円
北千里駅前地区第一種市街地再開発事業	572億円
淀屋橋駅西地区第一種市街地再開発事業	668億円
千里丘駅西地区第一種市街地再開発事業	258億円
神戸三宮雲井通5丁目地区第一種市街地再開発事業	870億円
JR三ノ宮新駅ビル (仮称)	500億円

建設費指数 No10 病院 RC (大阪)



(一財)建設物価調査会 建築費指数グラフより

## 2-2. 第2回目の入札不調要因と次回入札に向けて

### 2) 直近の病院工事入札状況

病院名	所在地	開札	病床数	延床面積 (万㎡)	㎡単価 (千円)	備考
(仮称)伊丹総合医療センター	兵庫県	2022/10/6	602	約5.7	584	入札不調(2回目)
福山市民病院	広島県	2022/9/30	500	約3.0程度	843	落札
千葉市立新病院	千葉県	2022/9/21	333	約3.4	658	落札

### 3) 次回入札に向けて

- ① 建設資材等の高騰に対応するため、公告から入札までの期間を短縮し、物価上昇の変動リスクを軽減
- ② 市場の急激な変化に対応するため、予定価格の積算直前までの市場価格を反映
- ③ 特に、市場価格が大きく変動する工種について、専門業者からのヒアリング調査を踏まえ、市場価格を適正に反映

## 2-3. 第2回目の入札不調要因と次回入札に向けて

### 4) 次回入札に向けた各種工事費の上昇率

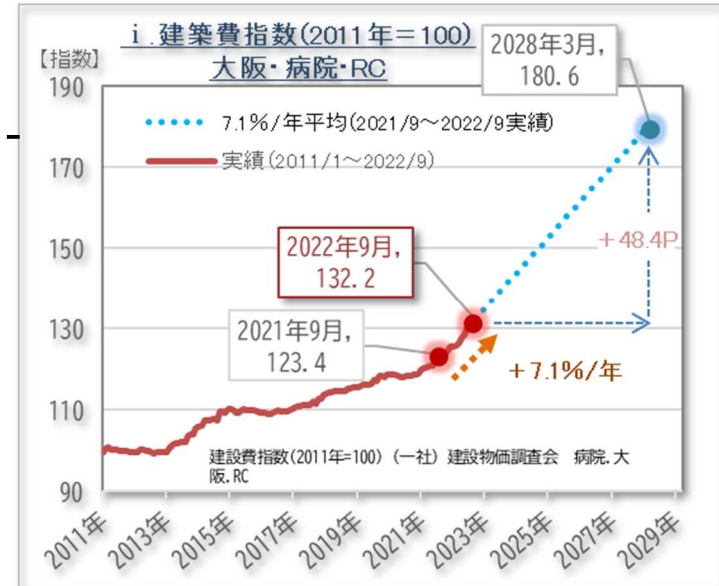
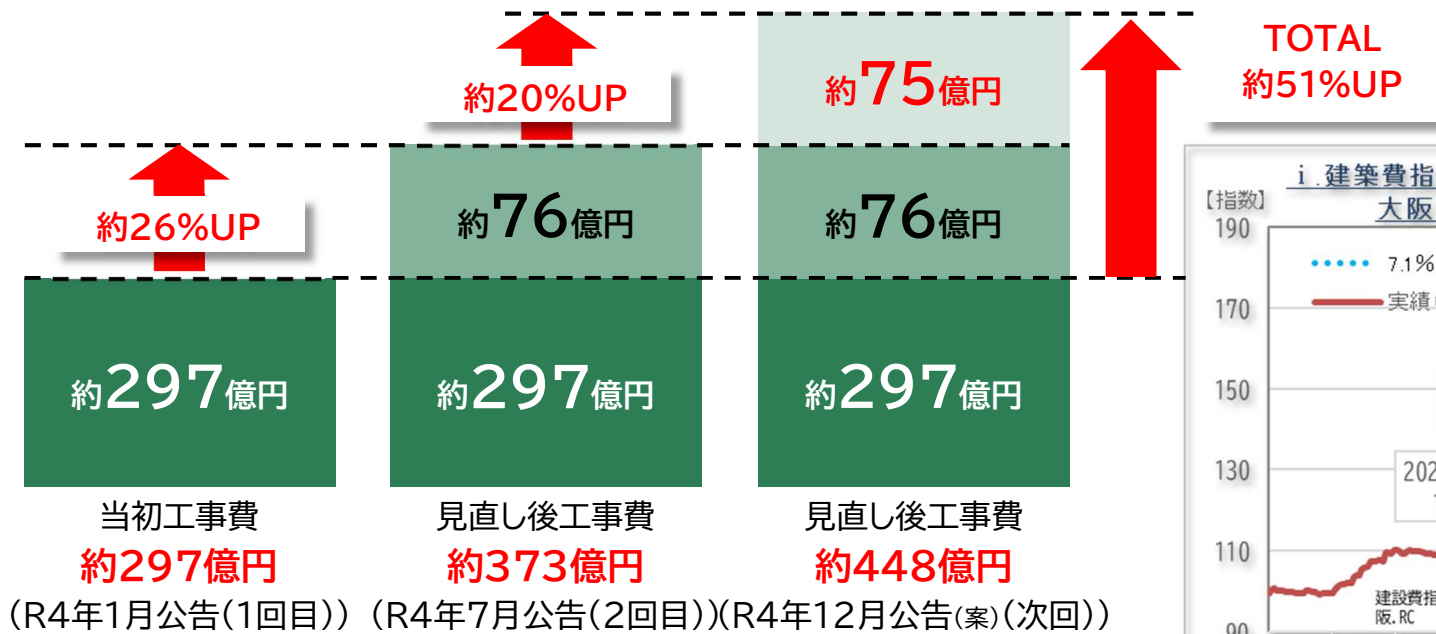
○継続的な物価上昇に対応 + 市場価格の適正な反映

	上昇率			主要資材のうち、価格の高騰または乖離があるもの
	R3.10～ R4.5 (2回目(※))	R4.5～ R4.12 (次回)	R3.10～ R4.12 (累計)	
<b>建築主要工事</b>				
建物基礎・免震工事	32.42%	13.74%	50.61%	コンクリート・鋼板・鉛
鉄骨(構造部材)工事	49.36%	17.99%	76.22%	鋼材・コンクリート
金属・建具(サッシ・ドア・シャッター)工事	41.31%	△2.89%	37.23%	
内装(間仕切・エント・加圧・床シート)工事	59.65%	21.91%	90.08%	石膏ボード・木材・エント(シャワー、トイレ)
外装(ALC・屋根・樋)工事	49.73%	20.35%	65.02%	セメント・セメント加工品(ALC)
医療専門(遮蔽・手術・気送管)工事	56.93%	13.68%	78.39%	放射線防護(鉛・ガラス・鋼板)・シールド(銅)
屋外(舗装・囲障・排水・防音パネル・庇等・屋上緑化)	35.90%	△5.16%	17.86%	
昇降機(エレベーター・エスカレーター)工事	27.00%	22.03%	54.97%	鋼材・アルミ・半導体・モーター(銅)
<b>電気設備主要工事</b>				
受変電(高圧受電盤・発電機・UPS)工事	25.52%	17.43%	24.26%	鋼板・バッテリー(鉛)・モーター(銅)・ケーブル(銅)
電灯設備(照明器具・照明制御)工事	32.00%	12.58%	40.78%	鋼板・半導体
弱電設備(情報通信ネットワーク・サイン等)工事	25.34%	14.33%	43.31%	半導体・ケーブル(銅)
医療専門(ナースコール・待合呼出)工事	28.62%	27.87%	64.47%	半導体・ケーブル(銅)
<b>機械設備主要工事</b>				
空調・換気設備(エアコン・換気エント)工事	31.85%	34.62%	78.58%	熱交換器(銅)・配管(銅)・モーター(銅)・鋼板・ステンレス・半導体
自動制御(空調・換気・ポンプ制御)工事	28.00%	39.60%	76.43%	貯水槽(鋼板)・ポンプモーター(銅)・配管(鉄)・半導体・陶器
衛生設備(受水槽・衛生器具・消火)工事	32.78%	42.71%	89.49%	医療ガス配管(銅)・半導体
医療機械設備(医療ガス)工事	48.00%	37.98%	104.21%	熱交換器(銅)・配管(銅)・モーター(銅)・鋼板・ステンレス・半導体
熱源設備(ガスボイラレーション)工事	33.61%	46.10%	82.65%	半導体・ケーブル(銅)
<b>その他工事</b>				
各工種少額工事	8.08%	18.36%	27.93%	鋼材・アルミ・ステンレス・銅・半導体
標準単価システム	6.82%	4.65%	11.79%	鋼材・アルミ・ステンレス・銅・半導体
<b>全体合計</b>				
工事費割合による加重平均	<b>27.10%</b>	<b>19.62%</b>	<b>50.16%</b>	

※上記表のR3.10～R4.5(2回目)の上昇率は、令和4年6月6日市立伊丹病院特別検討委員会資料の数値を記載しています。本数値は当該委員会で提示した仕様変更による工事費約5億円減額をする前の数値となっているため、R3.10～R4.5(2回目)上昇率にR4.5～R4.12(次回)上昇率を乗じてもR3.10～R4.12(累計)上昇率の値とは一致しません。

### 3. 次回入札に向けた概算工事費の見直し及び財源の確保について

#### 1) 概算工事費の見直しについて… 約75億円



#### 2) 今後の物価上昇への対応について… 約40億円

今後の工期(約5年間)で工事費が約40億円増嵩の可能性あり。(約7.1%/年の物価上昇を想定)

#### 【1. 2の合計約115億円に対応するための既存財源の活用、新たな財源の確保等について】

##### I. 既存財源の活用… 約44億円

6月補正時に、今後見込まれる物価上昇等に対応するため、診療報酬改定等により見込んでいた財源の活用

①補助金等の増加 約30億円 ②診療報酬の改定 約90億円 ①②合計 約120億円 - 76億円 = 約44億円

##### II. 新たな財源の確保等… 約71億円

なお生じる財源不足に対して、ボート、基金等の財源を活用した一般会計からの補助 → 約71億円

➔ 以上 I、IIによる財源の活用等により、事業費の増嵩に加え、今後見込まれるさらなる物価上昇にも対応



# 4. 今後の方向性について

## 1) 医療提供体制構築の観点から

- ① 医師の働き方改革(2024年~)へ対応 ⇒ 医療提供体制の継続と充実・強化
- ② 新興感染症等へ機動的に対応 ⇒ 市民の安全・安心を確保
- ③ 医師等の確保 ⇒ 統合再編による医療資源の集約

## 2) 安定した運営体制構築の観点から

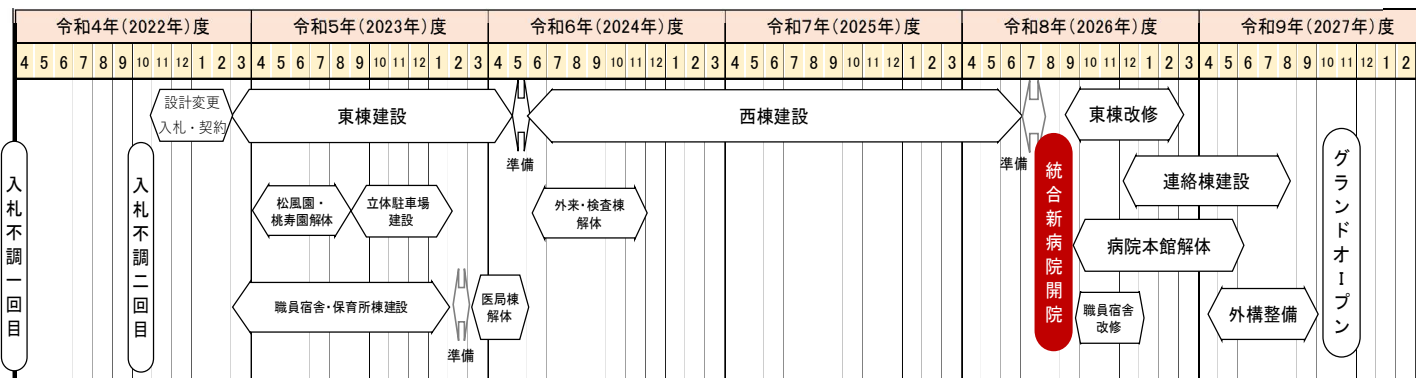
- ① 診療報酬改定の方向性に沿った医療機能の提供し、安定的収益を確保するためには、600床規模の運営体制の構築が必要  
⇒ 機能分化の観点から高度急性期の医療提供に対して手厚く支援

## 3) 地域医療構想実現の観点から

- ① 地域医療構想の目標年次 ⇒ 2025年(団塊の世代がすべて75歳に到達)
- ② 住み慣れた地域で必要とされる医療の提供 ⇒ 統合新病院が地域医療構想において果たすべき役割
- ③ 有利な財源の確保 ⇒ 病床機能再編支援事業 …2025年度までの開院が条件 再編ネットワーク債の期限 …2027年度

➔ いずれの観点からも、統合新病院の速やかな開院が求められている

## 4) 開院までのスケジュール(修正案) : 令和8年8月頃の開院を目指す



※鉄骨等の納期延長などにより、開院時期が数カ月遅れる可能性がある。